

**調査期間** 2012年9月16日～継続中  
**所在地** 伊勢原市子易地内  
**時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳  
弥生、縄文、旧石器  
**調査原因** 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査  
**遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北西約  
3.5キロに位置する。



### 主な調査成果

丹沢山地南東山麓から鈴川右岸段丘面に立地する遺跡で、2012年度から継続して調査を実施しています。これまでの調査において、縄文時代の集落跡・墓域、古墳時代の横穴墓群、中世の屋敷跡・寺院跡・池状遺構など大きな発見が相次ぎました。2016年度は、中世寺院跡と池状遺構の調査を実施し、中世寺院跡では3×4間の礎石建物跡（本堂）と2×3間の礎石建物跡（付帯建物）および2×3間の掘立柱建物跡（付帯建物）などが検出されました。池状遺構では、池の堤（堰堤）が発見されています。標高の下がった調査区では、縄文時代中期後葉～後期中葉の集落跡の調査を実施し、約200㎡の狭い範囲に15軒もの住居跡が重複していることが確認されています。今年度は、池状遺構の続きや中世の屋敷跡の調査を実施しています。



中世の礎石建物跡（寺院跡、東から）



中世の池状遺構（北から）



縄文後期前葉～中葉の集落跡（西から）



縄文後期前葉の敷石住居址（東から）